

	新人	一人前(1~3年)	中堅(4年~9年)	達人(10年目以上)
目標像	指導を受けながら自立でき、看護師としてやっていけると思うことができる。	主体的に看護実践し、新人(後輩・患者)の指導ができる。	1. 看護実践に於いてロールモデルとなり、後輩を育成する。 2. 自分のキャリアの方向性を見出すことができる。	1. 専門性を発揮し、職場のあらゆる場面でリーダーシップをとる。 2. チームメンバーの方向づけや育成を行い、所属部署の目標達成に貢献する。
倫理	看護の倫理綱領を理解し、福山医療センターの理念を述べることができる。	日常ケアで自分の倫理的問題に気付き、改善できる。	患者を擁護し、代弁者として行動できる。	倫理的視点で日常ケアを後輩に指導できる。
看護実践能力	1. マニュアル・手順に沿って基本的な看護ができる。 2. 指導を受け看護業務の優先順位を考慮した行動ができる。 3. エビデンスを考えながら基本的な看護ができる。 4. 指導を受けながら、受け持ち患者の看護過程が展開できる。 5. 指導を受けながら、安全安楽な看護が提供できる。 6. 重症者や急変時に対応援を呼ぶことができる。	1. 対象の個性を捉え、優先順位を考慮した看護が提供できる。 2. 受け持ち患者に対して、エビデンスに基づいてアセスメントし、患者・家族と共に看護計画の立案・実践ができる。 3. 安全安楽に、工夫して日常ケアが実践できる。 4. 緊急性が判断できる。 5. 事故発生時の対策を知り、支援を受けながら適切に対応できる。	1. 予測される、あるいは潜在的な問題に対応できる。 2. 所属部署の専門性を深めて、看護実践ができる。 3. 社会資源を活用した看護が提供できる。 4. 緊急事態発生時、迅速かつ的確に対応できる。	1. 知識・技術・経験を統合した看護実践ができる。 2. 病院の運営方針の通り、急性期病院の看護師として総合的な判断をすることができる。 3. 緊急事態に予測して行動がとれる。 4. 瞬時に状況判断ができ、的確な行動をとることができる。
マネージメント能力	1. 組織の一員であることを自覚し行動することができる。 2. 病院概要・理念を理解できる。 3. 看護部の理念と運営方針について理解できる。 4. 病棟の運営目標を理解し、チームの一員として協調的な態度がとれる。 5. 報告・連絡・相談ができる。 6. 指導を受けながら、一日の業務の優先度を判断し、業務を遂行できる。 7. 診療報酬体系を理解し、実施したケア・処置のコスト漏れをおこさない。 8. 院内の防災訓練に参加する。	1. チームメンバーとしての役割が理解でき行動できる。 2. 日々の看護活動の中でリーダーの役割を果たすことができる。 3. 看護部の目標と病棟の目標を理解して、自己の目標を立案できる。 4. チーム内の患者を理解でき、他部門との情報交換ができる。 5. 持ち合わせた情報を判断し、必要な事例について報告・連絡・相談できる。 6. コスト削減の必要性について理解し、実践できる。 7. 災害やトラブル発生時、支援を受けながら対処できる。	1. 看護単位の目標達成にもついで主体的に行動できる。 2. 固定チームナーシングにおけるチームリーダーの役割を果たすことができる。 3. 師長・副師長不在時、日々の業務代行ができる。 4. 病棟内の患者を理解でき、他部門との連絡調整が円滑にできる。 5. 委員会の役割を積極的に果たすことができる。 6. 経営改善に関する取り組みができる。 7. 災害やトラブル発生時、適切に対処できる。	1. 看護管理上の問題の発見やその解決のための方策を考えることができる。 2. 院内の関連部署と連絡をとって問題解決ができる。 3. 経営目標達成のための実践ができる。 4. 突発的な事態にリーダーシップを発揮できる。
安全管理	医療安全管理体制を理解し、インシデント・事故事例が報告できる。	リスク感性を磨き、所属部署の安全対策を理解し、安全対策が実施できる。	インシデントや事故事例の原因分析を行い、対策を立てて事故防止できる。	インシデントや事故事例の原因分析を行い、対策を立てて事故防止できる。
人間関係能力	1. 社会人としての言葉使いやあいさつができる。 2. 患者やスタッフとコミュニケーションがとれる。 3. 分からないことやできないことを他のメンバーに相談でき、援助を求めることができる。	1. 患者・家族およびほかの医療チームと良好なコミュニケーションがとれる。 2. 後輩へのアドバイスができ、良い所を見つけて誉めることができる。 3. 患者・家族の立場を理解し、医療チームとして対応できる。	1. 医療チームの調整役となれる。 2. 院外の医療チームとコミュニケーションがとれる。	1. 他部門との調整・交渉ができる。 2. 師長・副師長を助けて働きやすい、ものが言える職場風土をつくる。
教育・研究能力	1. 院内教育プログラムへ参加する。 2. 病棟の勉強会へ参加する。 3. 看護に関わる法律を知っている。 4. 自己の看護観を文章化できる(一事例をまとめる)。 5. 療養環境について疑問や問題意識を持つ事ができる。 6. 研究発表原稿を読み、研究発表会に参加する。	1. 院内外への研修に参加する。 2. 研修に参加した内容をチームに伝達することができる。 3. 専門的知識、技術を同僚と共有し活用する。 4. 看護技術の習得、看護計画の展開など学生を指導することができる。 5. 看護研究チームの一員として研究に参加する。	1. 専門的知識を活用し病棟スタッフの教育指導ができる。 2. 病棟の教育計画が立てられる。 3. 看護実践に関して学生、後輩に根拠をもって指導ができる。 4. 看護研究を計画しスタッフとともに取り組むことができる。	1. 専門知識を活用しスタッフの個々のレベルにあった指導ができる。 2. 意図的に関わって後輩を育成することができる。 3. 研究を使って業務改善ができる。
達成すべき役割	チームの一員としての自覚を持つことができる。	1. チームメンバーとしての役割が果たせる。 2. 日々のチームリーダーの役割が果たせる。 3. 病棟内の係りのサブリーダーができる。 4. プリセプターができる。 5. 看護学生に実習指導ができる。	1. 固定チームリーダーの役割ができる。 2. 病棟内の係りのリーダーができる。 3. 病院・看護部の委員会の委員として主体的に役割を担うことができる。 4. プリセプターシップが支援できる。 5. 看護学生個々に応じた実習指導ができる。	1. 所属部署の運営目標及び目標達成にもついでリーダーシップをとることができる。 2. 固定チームリーダーへのサポートができる。 3. 採用者や配置換え者に対して職場適応支援ができる。 4. 学生指導者を支援できる。